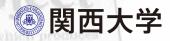


関西大学創立130周年記念 &梅田キャンパス開設記念





要事前申込

関西から考える新聞の 産業経済新聞社 専務取締役(大阪代表) 齊藤

朝日新聞社

前田史郎氏 布部拓男氏 新氏

京都新聞社 神戸新聞社 每日新聞社 大阪本社編集局長

読売新聞大阪本社 代表取締役社長

丸山雅也氏

杉山美邦氏

総合的にものごとを検証できる広い視野と、健全な価値観の育成を目指し、真に 有用な人材の育成に力を注いで参りました。この間、本学自身も、京阪神を中心 に、「関西」とともに歩んできました。

また、本学は、全国的にも早い段階で文学部新聞学科〈昭和24(1949)年〉を設 幅広い社会的見識の向上に資することを目的に、マスコミ業界で活躍される本 聞六社のご協力により、パネルディスカッションを開催する運びとなりました。 各社の経営・編集方針を越えて、関西地区における新聞メディアの果たすべき役 割について、現在から未来への展望を学生とともに議論していただきたいと考 えております。

多くの学生・生徒の参加をお待ちしております。

平成28年10月22日日 14:00~16:30

В 13:00 時

14:00 ~

15:10 15:20

15:20 ~ 第2部 16:30

関西大学梅田キャンパス8Fホール 場 (平成28年10月1日 グランドオープン)

関西大学学生、関西大学併設校生徒、

京阪神の他大学学生

募集定員

参加対象者

約300人

関西大学

関西大学マスコミ人会



関西地区における公共圏形成に果たす新聞メディアの役割

関西大学 社会学部教授 黒田 勇

「想像の共同体」の著者ベネディクト・アンダーソンによれば、 近代の国民国家が編成される際、「国民」が形成されるのに「日 刊新聞」の役割は大きかったとされています。

日本においても、国語の普及、日常的な文体の標準化から、 事件や事故の報道に関しての空間的なアイデンティティスペース の形成まで、日本が国民国家として編成される際に、新聞の果 たした役割は大きく、また現在も依然として大きいものです。

とりわけ、大阪は明治期に新たな新聞産業が勃興し、昭和初期までに大阪に生まれた新聞社が全国紙として成長していきました。その後東京で生まれた新聞も大阪に参入し、関西地区でも根を張り、大きな影響力を発揮しています。さらに、関西圏では、京都と神戸の二つの「地域」紙が地域の「公共圏」の形成と維持に大きな影響力を発揮してきました。しかし、この間のメディア環境の急激な変化に伴い、新聞のそうした役割は低下していると多くの人が考え、とりわけ若者たちは、インターネットがその

役割を代替しつつあると考えています。しかし、インターネットはいまだ、それだけで「公共圏」を作るほどには成長してはいません。 そこで、改めて関西地区における新聞メディアの役割の重要性を確認し、今後の展望を探る必要があります。

以上の問題意識を踏まえて、今回のパネルディスカッションでは、各社の代表 (パネリスト) に、以下のような議論をしていただきます。

関西地区、あるいは京阪神各都市において、「公共圏」の形成にこれまでどのような貢献をし、また現在も続けているのか、 事件や事故の報道に限定することなく、様々な文化事業や地域 貢献活動も含めて、各社の実績や方針を紹介していただきます。

そのうえで、各社の経営・編集方針を越えて、関西地区における新聞メディアの果たすべき役割について、現在から未来に向けての展望を議論していただきたいと考えます。

申込方法

関西大学ホームページ(http://www.kansai-u.ac.jp/)の最新情報又はイベントカレンダーから、専用申込サイトにアクセスしてお申し込み下さい。 応募者多数の場合は、抽選にて参加決定者へのみメールにて返信いたします。 ※shinbun6top@ml.kandai.jpからのメールが受信できるようにして下さい。 (本学学生には、インフォメーションシステムの「個人伝言」でお知らせします。)





【アクセス】 関西大学梅田キャンパス 大阪市北区鶴野町1-5 阪急[梅田駅]から徒歩5分、JR[大阪駅]から徒歩8分